

# 二つの流派が石川の地にて豪華競演

## 異流競演

# 黒川能

「千」

「鳥」

……遠藤 広志



# 狂言の会

令和7年

# 2/9

日

13:30開演  
(12:30開場)

# 和泉流

「六地藏」

……野村 万蔵

「佐渡狐」

……野村 萬【人間国宝】



山形県鶴岡市黒川地区に鎮座する「春日神社」の神事能として、氏子の人々によって継承されてきた黒川能は、約200戸の春日神社の氏子が上座と下座に分かれて能座を形成し、能役者は舞方・囃子方・狂言方を含め、合わせて約130人、演目数は能500番、狂言50番が伝承されています。昭和51年5月4日には、国の重要無形民俗文化財に指定されました。今回はこの黒川能の狂言と、藩政時代に金沢で活躍し、現代でも一流の芸を継承する和泉流狂言野村万蔵家との豪華な競演です。

会場・お問合わせ

## 石川県立能楽堂

〒920-0935 金沢市石引4丁目18-3 TEL・FAX:076-264-2598

料金

一般：4,000円 学生：2,000円【全席自由】※大学生・大学院生・専門学校生が対象

※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は公演日の3日前までとなります。  
※学生料金でお求めの方は、受付で学生証をご提示ください。  
※高校生以下無料。ただし入場券が必要となります。入場券は石川県立能楽堂でお求めください。  
※都合により、配役が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※公演中の撮影・録音は固くお断りいたします。

チケットのお求め

- 石川県立能楽堂 (TEL:076-264-2598)
- 石川県立音楽堂 チケットボックス (TEL:076-232-8632)
- 香林坊大和プレイガイド (TEL:076-220-1332)

オンライン予約は  
こちらから! ▶





番組

解説

野村 万蔵  
蛸井伊右エ門

〔和泉流〕

佐渡狐  
奏者 野村 萬

佐渡国の百姓 野村 拳之介  
越後国の百姓 野村 万之丞

後見 野村眞之介

〔黒川能〕

千鳥  
太郎冠者 遠藤 広志

主人 秋山 直之  
酒屋 釵持 翼  
後見 山口 豊和

休憩十五分

〔和泉流〕

六地藏  
すっぱ 野村 万蔵

田舎者 炭 光太郎  
すっぱの仲間 能村 晶人  
" 中尾 史生  
" 炭 哲男  
後見 野村眞之介

【午後三時三〇分終演予定】

出演者

佐渡狐  
さどぎつね

佐渡の国の百姓と越後の国の百姓が御館(荘園の領主)に年貢を納めに行く途中で道連れになり、佐渡に狐がいる、いない、の論争になります。二人は各々の一腰(刀)を賭け、奏者に判定を頼むことにします。先に年貢を納めに入った佐渡の百姓は、実は狐を見たことがなかったため、奏者に賄賂を渡し狐の形や色を教えてもらいます。さて判定の場に両者出そろふと、予定通り佐渡の百姓に軍配が上がり帰途につく二人ですが、どうしても諦められない越後の百姓は…。

演目あらすじ

千鳥  
ちどり

主人は来客に振る舞う酒を買ってくるように太郎冠者に命じます。酒屋に着いた太郎冠者ですが、ツケがたまっているため酒を売ってもらえません。そこで、酒屋が話好きなのに付け入り、伊勢の浜辺で見た千鳥を獲る様や、津島祭で山鉦を引く様を話してその隙に酒樽を持ちだそうとする太郎冠者ですが…。

六地藏  
ろくじぞう

ある田舎に住む男は、新しく建立した地藏堂に安置する地藏を求めて都へやってきます。しかしどこで手に入れられるかも分からない男は、大声で仏師(仏像を彫る人)を呼びながら歩き回ります。そこへすっぱ(詐欺師)が自分こそ真仏師であると言って近づき、翌日までに地藏を作る約束をしますが、地藏など彫ったこともないすっぱは、仲間の三人を呼び出し何やら相談を始めます。翌日、約束の場所に田舎者の男がやって来ると…。



和泉流  
野村 万蔵



野村 萬



黒川能  
蛸井伊右エ門



遠藤 広志



金沢駅兼六園口(東口)6番のりば  
北鉄バス出羽町バス停より  
徒歩3分

【石川立能楽堂】



能楽堂HP 能楽堂公式X